評価のしくみについて

（１）目的

地域包括支援センターの運営や活動を一定の基準に基づいて評価し、その結果を活かしてより良い運営・活動に向けた取組みを推進することを目的に、国の示した評価指標に沿って、自己評価を実施する。

（２）評価期間について

当該年度の概ね１年間とする。
（令和７年４月から令和８年３月）

（３）自己評価時期

当該年度末とする。

（４）外部評価機関

茨木市地域包括支援センター運営協議会

評　価　の　手　順

（１）評価手順

① 地域包括支援センターは、国の示した評価指標に沿って、全職員により全項目について、自己評価を実施する。

② 地域包括支援センターは、実施した自己評価を集約し、市へ提出する。

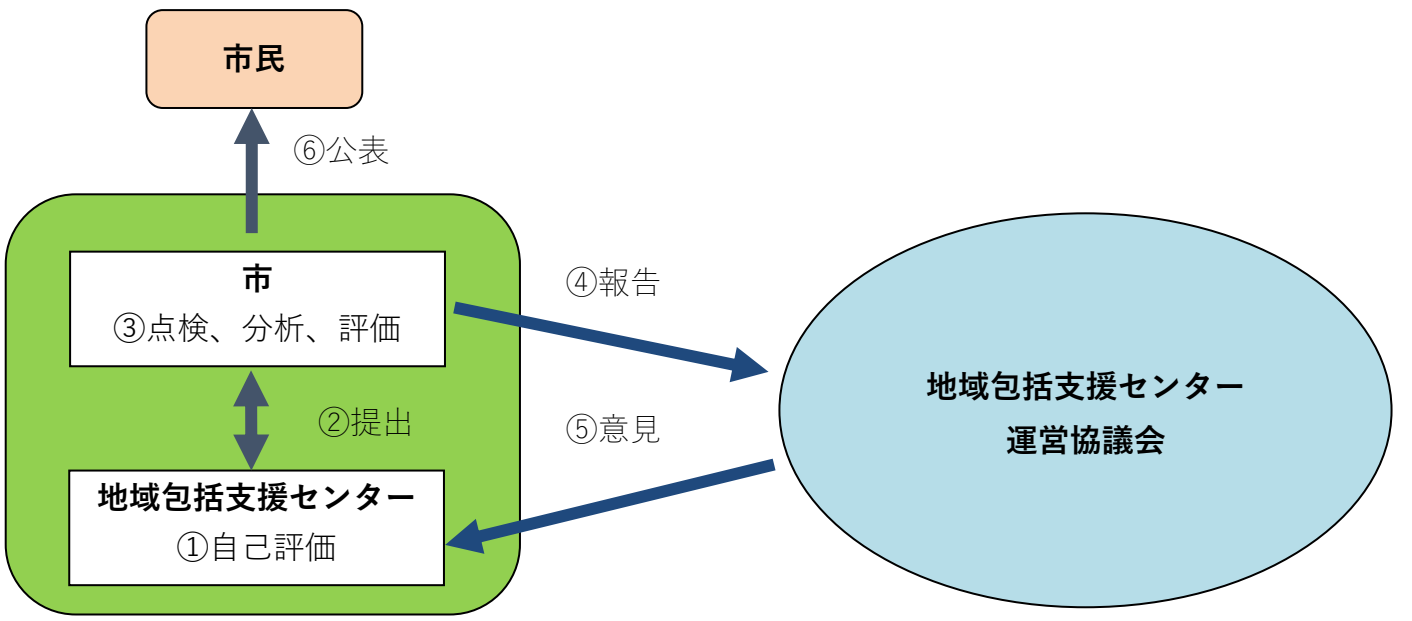
③ 市は、提出のあった自己評価内容について点検、分析し、市の評価を行う。

④ 市は、評価をまとめ、地域包括支援センター運営協議会に報告する。

⑤ 地域包括支援センター運営協議会において、自己評価の結果について審議及び評価、改善策等の意見をいただく。

（２）公表について

⑥ 市は、承認された評価結果をホームページ等で市民に公表する。



基 本 的 な 考 え 方

資料3

（１）業務評価表の見方

１．地域包括ケアシステムの構築・推進
２．組織・運営体制
３．総合相談支援事業
４．権利擁護事業
５．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
６．地域ケア会議
７．介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
８．包括的支援事業（社会保障充実分）

（２）記入者

本評価表は、職種に関わらずセンター職員全員で検討し、総合判断のうえ記入することを基本としています。
各項目について、三職種それぞれの立場から評価することがチームアプローチを基本とするセンターの運営の評価において必要と考えられるからです。
運営全体に関するものについては、公正・中立性の確保や人材育成などの運営管理に責任を持つものが評価することが適切と考えられるため、センター長が判断し、記入しています。

（３）記入の仕方

各項目について、「〇」か「×」で評価します。
「〇」の個数が点数になります（一部の段階評価の項目を除く）。

令和７年度地域包括支援センター業務評価表　　自己評価

活動目標/取組内容			清涼・忍頂寺・山手台		安威・福井・耳原		豊川・郡山・彩都西		太田・西河原		三島・庄栄		東・白川		春日・郡・畑田		沢池・西		春日丘・穂積		茨木・中条		大池・中津		天王・東奈良		玉櫛・水尾		玉島・葦原	
1．地域包括ケアシステムの構築・推進																														
1　市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する 〔趣旨〕センター業務を実施する前提となる地域アセスメントを行い、担当圏域の現状および将来像やニーズ等を把握しているかを評価する。	A	人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか	○	3	×	1	○	3	○	4	○	3	○	4	×	3	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
	B	介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか	○		×		×		○		×		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	C	センターが実態調査を行い、担当圏域の現状やニーズを把握しているか	×		×		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	D	相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
2．組織・運営体制																														
1　市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る 〔趣旨〕センター業務を実施する前提となる地域市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえて、事業計画の作成、重点目標を設定し、必要に応じて業務改善を図っているかを評価する。**（※４段階評価）**	A	市町村が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか		4		4		4		3		4		4		2		4		2		4		4		4		4		4	
	B	当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか													○				○												
	C	市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか							○																						
	D	センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか	○		○		○				○		○				○				○		○		○		○		○		
2　センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う 〔趣旨〕センター機能を効果的に発揮できるように、センター長等を中心として、センターの業務量の最適化を図りながら、個々の職員の専門性を踏まえたチームアプローチができているかを評価する。	A	センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	2	○	4	○	3	○	4	○	4	○	4	○	4
	B	センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	C	センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっているか	○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○		○		○		○	
	D	特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか	○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		×		○		○		○		○	

活動目標/取組内容		清渓・忍頂寺・山手台		安威・福井・耳原		豊川・郡山・彩都西		太田・西河原		三島・庄栄		東・白川		春日・郡・畑田		沢池・西		春日丘・穂積		茨木・中条		大池・中津		天王・東奈良		玉櫛・水尾		玉島・葦原	
3　センター職員の人材確保および育成を図る																													
〔趣旨〕センター職員の人材確保、定着、育成のために、研修やメンタルヘルス対策を行う体制を整え、対応しているかを評価する。																													
A	センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	3	○	4	○	3	○	4	○	4	○	4
B	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が研修を実施しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○		○		○	
C	センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修（Off-JT）に参加できるようにしているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
D	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○	
4　市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する																													
〔趣旨〕市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、個人情報の取り扱いに留意する体制を整備するとともに、必要に応じて苦情やカスタマー・ハラスメント等に対応できる体制を構築して、実践できているかを評価する。																													
A	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
B	個人情報の持出･開示時は､管理簿への記載など管理しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
C	市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告（共有）の体制を構築しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
D	センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
3．総合相談支援事業																													
1　地域包括支援ネットワークを構築する																													
〔趣旨〕すべてのセンター業務の基盤であり、ニーズ発見や支援機能等を果たす地域包括支援ネットワークを構築できているかを評価する。																													
A	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3
B	気になる高齢者等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
C	相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	

活動目標/取組内容		清渓・忍頂寺・山手台		安威・福井・耳原		豊川・郡山・彩都西		太田・西河原		三島・庄栄		東・白川		春日・郡・畑田		沢池・西		春日丘・穂積		茨木・中条		大池・中津		天王・東奈良		玉櫛・水尾		玉島・葦原	
2　市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす 〔趣旨〕総合相談の実績を市町村と共有し、市町村と協働しながら総合相談を実践できているかを評価する。																													
A	相談事例の分類方法に沿って、１年間の相談件数等を市町村に報告しているか	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4
B	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
C	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
D	相談内容を分析して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
3　家族介護者支援に取り組む 〔趣旨〕家族介護者が相談しやすい環境を整備し、早期に課題を発見し、必要な支援につなげることができているかを評価する。																													
A	夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口（連絡先）を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか	○	4	○	4	○	3	○	4	○	4	○	4	○	3	○	4	○	4	○	3	○	4	○	4	○	4	○	4
B	支援が必要な家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか。	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
C	家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
D	家族介護者からの相談について､相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか	○		○		×		○		○		○		×		○		○		×		○		○		○		○	
4　複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する 〔趣旨〕ニーズ把握や相談内容の整理等を行った後、記録に残すのみではなく、複合的な課題を持つ世帯の特徴を把握し、相談体制の強化や整備につなげることができているかを評価する。																													
A	相談者とともに複合的課題を整理してニーズを明確にしているか	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	3
B	ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
C	相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×	
D	相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	

活動目標/取組内容			清渓・忍頂寺・山手台		安威・福井・耳原		豊川・郡山・彩都西		太田・西河原		三島・庄栄		東・白川		春日・郡・畑田		沢池・西		春日丘・穂積		茨木・中条		大池・中津		天王・東奈良		玉櫛・水尾		玉島・葦原	
4．権利擁護事業																														
1　高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う 〔趣旨〕高齢者による成年後見制度の適切な活用支援、消費者被害の予防・対応、高齢者虐待の予防・対応等といった権利擁護ができているかを評価する。	A	市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認しているか	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	B	消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	C	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	D	高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	E	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
5．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業																														
1　担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支 〔趣旨〕介護支援専門員への個別ケアマネジメント支援と環境整備を適切に行うことができているかを評価する。	A	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等）を把握しているか	○	4	○	5	×	4	○	5	○	5	○	5	○	4	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5
	B	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	C	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか	○		○		○		○		○		○		×		○		○		○		○		○		○		○		○	
	D	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	E	介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか	×		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	

活動目標/取組内容		清渓・忍頂寺・山手台		安威・福井・耳原		豊川・郡山・彩都西		太田・西河原		三島・庄栄		東・白川		春日・郡・畑田		沢池・西		春日丘・穂積		茨木・中条		大池・中津		天王・東奈良		玉櫛・水尾		玉島・葦原	
2　市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う																													
〔趣旨〕指定介護予防支援事業者の指定を受けた圏域内の居宅介護支援事業所が作成する介護予防サービス計画について、センターと協議して市町村が定めた検証方法に沿って、適切に検証を行っているかを評価する。（※３段階評価）																													
A	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する新規の介護予防サービス計画を確認しているか		3		3		3		3		3		3		3		3		3		3		3		3		3		3
B	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する更新の介護予防サービス計画を確認しているか																												
C	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、その検証をしているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
6．地域ケア会議																													
1　センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる																													
〔趣旨〕個別ケース検討による高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援やネットワーク構築を行えるように、地域ケア会議を活用できているかを評価する。																													
A	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知しているか	○	4	○	5	○	5	○	5	×	4	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	×	3	○	5	○	4	○	5
B	センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
C	市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
D	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○	
E	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか	×		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		○	
2　地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する																													
〔趣旨〕地域ケア会議で把握した地域課題に対して、適切に対応することができているかを評価する。																													
A	センター主催の地域ケア会議（地域ケア個別会議）において、地域課題の可能性がある課題を抽出しているか	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	2	○	4	○	4	○	4
B	センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○	
C	センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
D	地域課題の整理・分析・対応等を行なうために、市町村レベルの地域ケア会議（地域ケア推進会議）等に参加または資料提出しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○	

活動目標/取組内容			清渓・忍頂寺・山手台		安威・福井・耳原		豊川・郡山・彩都西		太田・西河原		三島・庄栄		東・白川		春日・郡・畑田		沢池・西		春日丘・穂積		茨木・中条		大池・中津		天王・東奈良		玉櫛・水尾		玉島・葦原	
7．介護予防ケアマネジメント・介護予防支援																														
1　介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する 〔趣旨〕市町村の方針に基づき、センター職員や介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施しているかを評価する。																														
	A	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知しているか	×		○		×		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	B	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	C	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか	○	4	○	5	○	4	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	○	5	×	3	○	5	○	5	○	5
	D	介護予防ケアマネジメント･介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○	
	E	市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
8．包括的支援事業（社会保障充実分）																														
1　事業間連携を推進する 〔趣旨〕包括的支援事業（社会保障充実分）の委託の有無にかかわらず、それぞれの事業におけるセンターの役割に対して、適切に事業推進することができているかどうかを評価する。																														
	A	在宅医療･介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		×		○		○		○	
	B	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターおよび協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	C	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	4	○	3	○	4	○	4	○	4
	D	包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
/66				62		63		62		65		64		66		61		66		61		65		57		66		65		65
/100				94		95		94		98		97		100		92		100		92		98		86		100		98		98